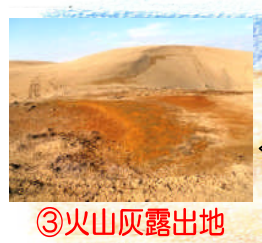
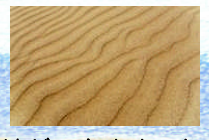
おすすめ砂丘マップ 梅雨編

雨の日だって砂丘は面白い！！雨の日ならではの楽しみ方があるんです★



③火山灰露出地

鳥取砂丘は砂の間に火山灰層が挟まれています。この付近は風通しが良く、砂が飛ばされ、砂の下に堆積している火山灰が顔を出しています。



風紋ができやすいところ！

＊馬の背～火山灰露出地：約15分

①馬の背

標高約47m。頂上では絶景を楽しめる人気No.1スポットです。

海士島(あましま)

＊START～馬の背：約15分

くじらの形に似ていることからくじら島とも呼ばれています。

風紋ができやすいところ！

②オアシス

④追後スリバチ

砂が強風によって移動し、大規模なスリバチ状の窪んだ地形ができます。32度の急斜面、深さは20m。

毎年梅雨の時期にオアシスに出没するある動物とは・・？

馬の背までは往復約25分

時間が無い方はコチラ！30分コース

じっくり60分コース START

リフト

砂丘センター　展望台

砂丘入口階段

雨の日はここに注目!

オアシスに注目!

動物達の憩いの場、オアシス。どんな動物が見られるのか！？観察してみよう！

※砂丘内での動植物の採取は禁止されています。ルールを守って下さいね！

カエル

アマガエル

トノサマガエル

毎年、梅雨の時期になるとオアシスに現れるカエル！どこから・どのようにしてやってくるのか・・・謎は深まるばかり。

今年はアマガエルとトノサマガエルを発見！驚かさないように、そっ～と探してみて下さいね！

なんと、オアシスの水中で卵も発見！

その後・・・

卵からかえっておたまじゃくしになりました。

オアシス水量の変化

なぜ砂丘のど真ん中に池があるの？と不思議に思う人がいるかもしれません。この水の正体はオアシスに降った雨が湧き水となり溢れだしているものです。

大雨が降った日はオアシスが大きくなり、晴れの日が続くと小さくなります。梅雨の時期は１日で形が大きく変わることもあります。梅雨明けには完全に干上がります。オアシスを見るには今がチャンスです！

2月の様子。雪が多いこの時期はこんなに大きくなります。

一度干上がったオアシスが・・・

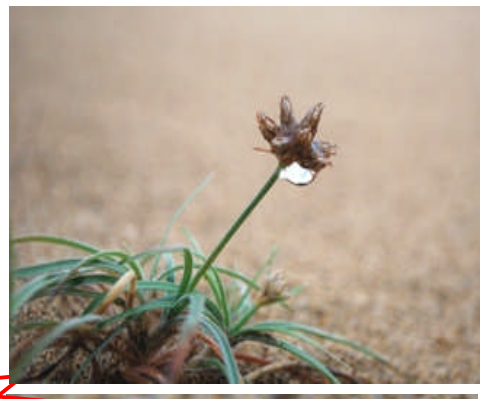
雨が降って復活！

雨のしずくに注目!

雨の日は面白い写真が撮れるチャンス！さぁ、カメラ片手に探しに行こう。

砂丘植物のハマニガナ。葉の上のしずくに砂が！砂丘ならではの光景です。

こちらはウンラン。8～9月に黄白色の花をつけます。



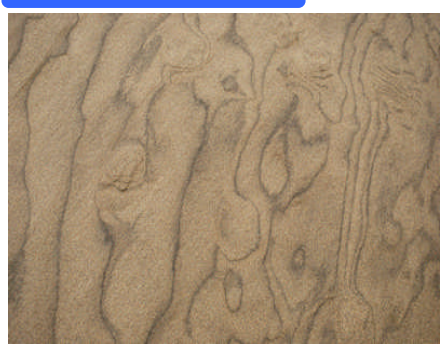
何だこれは!?

ハマニガナの葉に落ちた雨のしずく。よ～く見ると何かに見えませんか？？仮面ライダー？宇宙人？

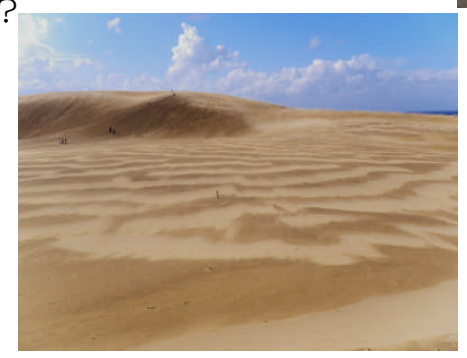
このようなオモシロ写真にも挑戦してみて下さい♪

砂の模様に注目!

雨上がりの砂丘は、面白い砂の模様を見つけることができます！



まるで木の年輪みたい！？



こちらはシマ模様！雨が降った翌日、乾き始めた砂が風で流されてできます。

風雨で固められた砂は不思議な模様をつくります。

砂丘植物に注目!

砂丘植物にとっては恵みの雨♪厳しい環境の砂丘でグングン成長しています。
※砂丘内での動植物の採取は禁止されています。ルールを守って下さいね！

ハマニガナ

春と秋の年2回、黄色い花をつけます。茎や葉をちぎると白く苦い液が出ることが、名前の由来とされています。

ハマヒルガオ

初夏の日中に、朝顔のような花をつけます。地下茎を横に伸ばし広がるため、大きな群落となって生育します。

ハマボウフウ

セリ科の植物。葉は肉厚で照りがあります。茎は刺身のつまなど食用になるために採取され数が減っていました。

オニシバ

硬く細い葉を横に広げますが、気温が高くなると縦に巻いて水分の蒸発を防いでいます。

コウボウシバ

水分を好むので、オアシス周辺に大群落をつくります。細い上の穂が雄花、下の穂が雌花、同じ株です。

ハマゴウ

海岸から内陸まで広く点在します。匍匐性木本で茎は地上を這うように広がり、砂防効果も高いです。

真夏に青紫色の花が咲き、秋には香りの強い実をつけます。この実は漢方薬としても利用されています。

多鯰ケ池に注目!

ちょっと足を伸ばして多鯰ケ池に行ってみよう！この時期は睡蓮の花が満開です♪

鳥取砂丘の雄大さと好対照を成す静かな魅力を持つ多鯰ヶ池。

一面に咲く睡蓮。素晴らしい光景です！

近づくと、かすかな香りも楽しめます☆

雨の日の砂丘散策、楽しんで下さいね♪